

(5) 展報	学習活動 ○発問	○指導上の留意点 指導計画	例
	1 集合・整理・検算 S1 心のスイッチ	○指導上の留意点 指導計画 ※標準5スタンダード5との関係 ※形態主題及び研究主題との関係	☆S1を踏まえ、全員速やかにできるよう促し、目と目をしっかり合わせ検算する。 ◎A-2(項目のみ)
	2 本時のねらいや学習内容の把握 S2 ぬあての提示		☆S2を踏まえ、児童が明確な課題意識と見通しをもち、意欲を高められるようぬあてを提示する。
	S1 心のスイッチ		☆S1を踏まえ、全員速やかにできるよう促し、目と目をしっかり合わせ検算する。
	S2 ぬあての提示		☆S2を踏まえ、児童が明確な課題意識と見通しをもち、意欲を高められるようぬあてを提示する。
	S3 自分で考え・共に深める		☆S3を踏まえ、思考を促す発問をとおして「わかる→できる」(理解調べるの仕方)の習得を促すために、自力解決したり、対話的な学びをしたりする時間を確保する。
	S4 達成度確認		☆S4を踏まえ、ねらいや学習内容に沿った指導と評価を繰り返す。
	S5 まとめ振り返り		☆S5を踏まえ、板書やノート、学習カード等を活用し、追究した結果を明確にする。

① 課題解決教育計画の編成

○学習内容の確実な定着

- ・コバトン問題集、パワーアップシートに2回以上取り組む。
- ・スタンダード5を日々着実に実践する。
- ・「論語マスター」「上小マスター」の実践を通して、学習意欲の向上と基礎基本の徹底を図る。



② 授業改善

○スタンダード5を意識した授業展開

- ・「課題—ぬあて—一個の学び—学び合い（集団の学び）—まとめ—振り返り」のある授業を45分で確実に展開する。」
- ・授業中に発表の機会を設ける。
- ・振り返る視点を感想のみでなく、分かったことやできるようになったことなど広がりをもたせる。

上高野小学校 学力向上



我が校4挑戦

③ 学級経営の充実

○美しい環境・潤いのある環境づくり

- ・日々の環境整備
- ・凡事徹底（無言行動）
- ・指導と評価の工夫
- ・体験活動の充実
- ・子どもの声に耳を傾ける。
- ・道徳科の授業の確実な実践



④ 家庭学習の習慣化

○家庭学習提出100%

- ・必要性や大切さについて子どもに伝える。（学級指導）
- ・定期的にチェックする。
- ・内容を主体的に決めさせる。
- ・家庭と個別にも連携する。

